



平安だより

世田谷平安教会付属平安幼稚園
2018年 1月号

「三步進んで 二歩さがる」

牧師・園長 長村亮介

三百六十五歩のマーチ

しあわせは 歩いてこない
だから歩いて ゆくんだね

一日一歩 三日で三步

三步進んで 二歩さがる

人生は ワン・ツー・パンチ

汗かき ベそかき 歩こうよ

あなたのつけた 足あとにや

きれいな花が 咲くでしょう

腕を振って 足をあげて

ワン・ツー ワン・ツー

休まないで 歩け ソレ

ワン・ツー ワン・ツー

ワン・ツー ワン・ツー

(作 星野 哲朗)

まさに「昭和」そのものですが、水前寺清子が勢いよく元気に歌いましたこの歌は、私にとつては、何かの時にふっと口ずさんでしまっているような、いわば身にしみてみこんでいるものの一つです。

「しあわせは 歩いてこない」というのは、作者の人生観なのでしょう。私も「棚からぼた餅」式に幸せな人生を過ごせる人は、実際には存在しないと思います。

今の私がこの歌詞の中で一番実感を持つのは、「三步進んで 二歩さがる」です。思い返せば、なんとなく物事が進んでいる時にこの歌を思い出すことは少なく、人に行き詰まると、いつの間にかこの歌を思い出して自

分を励ましているような気がします。せっかく「三步進んだのに「二歩」もさがつてしまうというの、なかなかに厳しいものです。でもこれは言葉の遊びではなくて、結構本当なのではないかと思えます。これが「すぐろく」のように、「三步進んで 一回休み」というのであったら良いのですが、「三步進んで 二歩さがる」からこそ「汗かき ベそかき 歩こうよ」という言葉に、何かとても実感が籠もるのです。

実のところ聖書には、そういう時にこそ読みたい御言葉がたくさんあります。特に旧約の詩編はご紹介し尽くせないほどです。その中でも「詩編五五編「三節」には、

「あなたの重荷を主にゆだねよ

主はあなたを支えてくださる。

主は従う者を支え

とこしえに動揺しないように計らってください。」

とあります。神頼みを良しとしない方もあるかも知れませんが、「三步進んで 二歩さがる」のが人生です。そういう時は神頼みでも良いではないかと思えます。一人で生きられるほど人間は強くないと私は思うのです。イエス・キリストのもう一つのお名前は、「インマヌエル(神は私たちと共にいてくださる)」です。私たちの傍らに、いつもいて支えてくださるイエスさまに信頼し、残された一歩から、また新しく歩み始めたら良いのです。

あなたのつけた 足あとにや

きれいな花が 咲くでしょう

腕を振って 足をあげて

ワン・ツー ワン・ツー

休まないで 歩け